

◆優勝監督インタビュー

東希望が丘ミニバスケット部・佐々木 淳一コーチ(女子)

■大会を振り返って

ブロック大会で敗れてしまったので、早々に榎が丘と対戦する事になったことが一つの山場だと考えていた。

苦しかったが乗り越えられたので、繋げていきたいと思ってやってきた。

■大会までにやってきたこと、意識的に取り組んできたこと

メンバーが揃っていたので、メンバーの個の力を高めるようにやってきた。

マンツーマンになって、3線のディフェンスがポストに対して動かないので、オフェンスを工夫しないとインサイドによられてしまうと感じ、他の子を動かしてポストへのボールの入れ方を春とは変えた。

■今後の課題と目標

子供たちは神奈川県で一番になることを目標にしているので、それに向けて3Qに出る子のオフェンスとディフェンスを粘り強くやる事がチームのスタンスと思っている。

ディフェンスからリバウンドまでの流れを再確認したいと思う。

◆選手インタビュー

■優勝しての感想

#4 小西 愛

ブロック大会では負けてしまって悔しい思いをしたが、その思いを晴らすことができた。内容的には、自分の思うようなことはできなかつたかったが、思いや気持ちを県大会につなげたい。

#7 徳田 胡春

ブロック大会で負けてしまった悔しい思いぶつけけることが出来てうれしいです。県大会でも優勝できるように頑張ります。

#10 小熊 美羽

ブロック大会では負ってしまったのは自分が悪いと思っていたので、思いをぶつけられてよかったです。県大会や関東大会では、自分のプレーをもっと発揮したいです。

■今大会までどんなことを頑張ってきましたか？

#4 小西 愛

オフェンスがチームでまとまっていなかつたので、声を掛け合ってやってきました。

#7 徳田 胡春

ディフェンスでファールが多く退場してしまって皆に迷惑をかけたのでしっかりやっている。
きたい。

オフェンスはセンターを使ってやっているので、しっかりやっているきたい。

#10 小熊 美羽

春の大会では、センタープレーでもシュートを全然決められなかつたので、面をとつて絶対
シュートが決められる様に頑張ってきた。

■今後の目標

#4 小西 愛

関東大会に出場してみんなで喜び合いたいです

#7 徳田 胡春

県大会では気持ちを一つにして、優勝出来るように頑張りたいです。

#10 小熊 美羽

皆で力を合わせて関東大会に出場出来るように頑張りたいです

